

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	科学1			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	4	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
救急救命士並びに公務員に必要な知識を身に付け、広い視野で物事をとらえる力を養う。							
教科書	公務員テキスト ほか			参考書			
授業の概要							
第1回	物理分野(1)			第16回	前期の復習・物理分野(15)		
概要	ベクトルと三平方の定理			概要	前期試験解説・波動①		
第2回	物理分野(2)			第17回	物理分野(16)		
概要	合力と分力			概要	波動②		
第3回	物理分野(3)			第18回	物理分野(17)		
概要	てこの原理と滑車の働き			概要	波動③		
第4回	物理分野(4)			第19回	物理分野(18)		
概要	ばねの働き			概要	静電気とコンデンサー		
第5回	物理分野(5)			第20回	物理分野(19)		
概要	力のモーメント			概要	電気回路①		
第6回	物理分野(6)			第21回	物理分野(20)		
概要	力学の復習			概要	電気回路②		
第7回	物理分野(7)			第22回	物理分野(21)		
概要	運動の法則			概要	電気回路③		
第8回	物理分野(8)			第23回	物理分野(22)		
概要	重力による落下運動			概要	総復習		
第9回	物理分野(9)			第24回	化学分野(1)		
概要	運動量保存の法則			概要	物質の成り立ち①		
第10回	物理分野(10)			第25回	化学分野(2)		
概要	力学的エネルギー保存の法則			概要	物質の成り立ち②		
第11回	物理分野(11)			第26回	化学分野(3)		
概要	流体の力学①			概要	物質の成り立ち③		
第12回	物理分野(12)			第27回	化学分野(4)		
概要	流体の力学②			概要	気体の性質①		
第13回	物理分野(13)			第28回	化学分野(5)		
概要	熱とエネルギー			概要	気体の性質②		
第14回	物理分野(14)			第29回	化学分野(6)		
概要	前期の復習			概要	溶液と溶解度		
第15回	総合			第30回	総合		
概要	前期まとめ			概要	後期のまとめ		
成績評価の方法		前期・後期に行う筆記試験の得点の平均による。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	科学2			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	4	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
救急救命士並びに公務員に必要な知識を身に付け、広い視野で物事をとらえる力を養う。							
教科書	公務員テキスト ほか			参考書			
授業の概要							
第1回	判断推理(1)			第16回	判断推理(16)		
概要	論理と集合①			概要	前期試験解説		
第2回	判断推理(2)			第17回	判断推理(17)		
概要	論理と集合②			概要	道順・一筆書き		
第3回	判断推理(3)			第18回	判断推理(18)		
概要	暗号読解①			概要	平面図形の数・模様①		
第4回	判断推理(4)			第19回	判断推理(19)		
概要	暗号読解②			概要	平面図形の数・模様②		
第5回	判断推理(5)			第20回	判断推理(20)		
概要	対応関係①			概要	軌跡①		
第6回	判断推理(6)			第21回	判断推理(21)		
概要	対応関係②			概要	軌跡②		
第7回	判断推理(6)			第22回	判断推理(22)		
概要	対応関係③			概要	立体図形の構成①		
第8回	判断推理(7)			第23回	判断推理(23)		
概要	順序関係①			概要	立体図形の構成②		
第9回	判断推理(9)			第24回	資料解釈(1)		
概要	順序関係②			概要	展開図・サイコロ①		
第10回	判断推理(10)			第25回	資料解釈(2)		
概要	試合の勝敗①(リーグ戦)			概要	展開図・サイコロ②		
第11回	判断推理(11)			第26回	資料解釈(3)		
概要	試合の勝敗②(トーナメント戦)			概要	投影図と折り紙		
第12回	判断推理(12)			第27回	資料解釈(4)		
概要	方位・位置関係			概要	立体の切断		
第13回	判断推理(13)			第28回	資料解釈(5)		
概要	手順や数量関係			概要	実践問題①		
第14回	判断推理(14)			第29回	資料解釈(6)		
概要	前期の復習			概要	実践問題②		
第15回	総合			第30回	総合		
概要	前期まとめ			概要	後期のまとめ		
成績評価の方法		前期・後期に行う筆記試験の得点の平均による。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	科学3			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	4	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
救急救命士並びに公務員に必要な知識を身に付け、広い視野で物事をとらえる力を養う。							
教科書	実践ドリルで学ぶOffice活用術			参考書			
授業の概要							
第1回	Word(1)			第16回	Excel(9)		
概要	文字入力			概要	ピボットテーブル		
第2回	Excel(1)			第17回	Excel(10)		
概要	文字入力①			概要	効率化		
第3回	Excel(2)			第18回	Excel(11)		
概要	文字入力②			概要	実践ドリル4・5		
第4回	Excel(3)			第19回	Excel(8)		
概要	文字入力③			概要	実践ドリル1～3		
第5回	Excel(4)			第20回	Word&Excel		
概要	文字入力④			概要	2つのアプリケーションの連携		
第6回	Excel(4)			第21回	Power Point(1)		
概要	文字入力⑤			概要	プレゼンテーションとは		
第7回	Word(2)			第22回	Power Point(2)		
概要	Excelデータの差し込み			概要	スライドの作成		
第8回	Word(3)			第23回	Power Point(3)		
概要	ビジネス文書			概要	スライドマスター		
第9回	Word(4)			第24回	Power Point(4)		
概要	書式の変更			概要	実践ドリル1～3		
第10回	Word(5)			第25回	Power Point(5)		
概要	図表の挿入			概要	資料の作成①		
第11回	Word(6)			第26回	Power Point(6)		
概要	実践ドリル1～3			概要	資料の作成②		
第12回	Word(7)			第27回	Power Point(7)		
概要	実践ドリル4～6			概要	資料の作成③		
第13回	Excel(5)			第28回	Power Point(8)		
概要	計算式・関数			概要	発表①		
第14回	Excel(6)			第29回	Power Point(9)		
概要	グラフ			概要	発表②		
第15回	Excel(7)			第30回	総合実践		
概要	データベース			概要	総合ドリル		
成績評価の方法		出席・授業態度と課題により総合的に評価する。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	英語			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	4	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
救急救命士並びに公務員に必要な知識を身に付け、広い視野で物事をとらえる力を養う。							
教科書	公務員テキスト 高校受験中3英語 他			参考書			
授業の概要							
第1回	ガイダンス			第16回	比較(Ⅰ)		
概要	Placement test			概要	形容詞・副詞の比較変化etc		
第2回	導入			第17回	比較(Ⅱ)		
概要	Placement test 解説			概要	疑問詞で始まる比較の文etc		
第3回	動詞(現在形)			第18回	命令文・感嘆文		
概要	be動詞と現在形、一般動詞と現在形			概要	命令文、感嘆文		
第4回	動詞(過去形)			第19回	基本文型		
概要	be動詞の過去形、一般動詞の過去形			概要	文の要素と基本文型、基本文型		
第5回	否定文・疑問文			第20回	受動態(Ⅰ)		
概要	否定文、疑問文と答え方			概要	動詞の活用、受動態、by～の省略		
第6回	進行形			第21回	受動態(Ⅱ)		
概要	進行形の作り方、進行形を作らない動詞			概要	SVOO,SVOCの文型の受動態 etc		
第7回	未来			第22回	現在完了(Ⅰ)		
概要	未来の文、相手の意思をたずねる用法			概要	現在完了、現在完了の用法		
第8回	助動詞			第23回	現在完了(Ⅱ)		
概要	助動詞、助動詞の働きをする語句			概要	注意すべき用法 etc		
第9回	名詞			第24回	不定詞(Ⅰ)		
概要	数えられる名詞と数えられない名詞 etc			概要	不定詞と用法 etc		
第10回	代名詞(Ⅰ)			第25回	不定詞(Ⅱ)		
概要	人称代名詞、指示代名詞,itの特別用法			概要	want[ask,tell]…to～の用法 etc		
第11回	代名詞(Ⅱ)・冠詞			第26回	動名詞		
概要	不定代名詞・冠詞			概要	動名詞とその用法 etc		
第12回	形容詞			第27回	分詞		
概要	形容詞の用法と位置、いろいろな形容詞			概要	現在分詞とその用法 etc		
第13回	副詞・部分否定			第28回	関係代名詞		
概要	副詞の用法と位置、部分否定			概要	関係代名詞の用法 etc		
第14回	疑問詞			第29回	接続詞・特別な疑問文		
概要	疑問詞で始まる疑問文			概要	接続詞、付加疑問文・間接疑問文		
第15回	総合			第30回	総合		
概要	前期まとめ			概要	後期まとめ		
成績評価の方法		前期・後期に行う筆記試験の得点の平均による。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	人文学科			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	4	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
救急救命士並びに公務員に必要な知識を身に付け、広い視野で物事をとらえる力を養う。							
教科書	公務員テキスト ほか			参考書			
授業の概要							
第1回	日本史1			第16回	世界史1		
概要	旧石器時代～推古朝			概要	古代(1)		
第2回	日本史2			第17回	世界史2		
概要	律令国家の形成～奈良時代(1)			概要	古代(2)		
第3回	日本史3			第18回	世界史3		
概要	律令国家の形成～奈良時代(2)			概要	中世ヨーロッパ(1)		
第4回	日本史4			第19回	世界史4		
概要	平安時代(1)			概要	中世ヨーロッパ(2)		
第5回	日本史5			第20回	世界史5		
概要	平安時代(2)			概要	近代ヨーロッパの誕生		
第6回	日本史6			第21回	世界史6		
概要	鎌倉時代			概要	近代国家の形成(1)		
第7回	日本史7			第22回	世界史7		
概要	建武の新政～室町幕府(～応仁の乱)			概要	近代国家の形成(2)		
第8回	日本史8			第23回	世界史8		
概要	戦国時代～桃山(織豊政権)時代			概要	中国史(古代～元)(1)		
第9回	日本史9			第24回	世界史9		
概要	江戸時代(初期～三大改革)(1)			概要	中国史(古代～元)(2)		
第10回	日本史10			第25回	世界史10		
概要	江戸時代(初期～三大改革)(2)			概要	中国史(明～)(1)		
第11回	日本史11			第26回	世界史11		
概要	江戸末期			概要	中国史(明～)(2)		
第12回	日本史12			第27回	世界史12		
概要	明治初期(～日清戦争)(1)			概要	南・西アジア史		
第13回	日本史13			第28回	世界史13		
概要	明治初期(～日清戦争)(2)			概要	現代の社会(1)		
第14回	日本史14			第29回	世界史14		
概要	明治中期～太平洋戦争(1)			概要	現代の社会(2)		
第15回	日本史15			第30回	世界史15		
概要	明治中期～太平洋戦争(2)			概要	芸術史 演習問題		
成績評価の方法		前期・後期に行う筆記試験の得点の平均による。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	社会科学				対象学科	救急救命士学科	
授業単位	4	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
救急救命士並びに公務員に必要な知識を身に付け、広い視野で物事をとらえる力を養う。							
教科書	公務員テキスト ほか			参考書			
授業の概要							
第1回	世界史16			第16回	政治7		
概要	終戦後(1)			概要	選挙制度と政党政治／国際政治		
第2回	世界史17			第17回	経済1		
概要	終戦後(2)			概要	市場の形態		
第3回	世界史18			第18回	経済2		
概要	文化史			概要	景気と金融政策		
第4回	地理1			第19回	経済3		
概要	地図の図法／世界の地形			概要	財政政策と税金・通貨		
第5回	地理2			第20回	経済4		
概要	世界の気候			概要	国民所得と景気変動		
第6回	地理3			第21回	経済5		
概要	世界の産業			概要	国際経済		
第7回	地理4			第22回	経済6		
概要	各国地誌、人種、言語など 演習問題			概要	日本の経済		
第8回	地理5			第23回	倫理・社会1		
概要	人口問題、都市問題、環境問題			概要	労働関係		
第9回	地理6			第24回	倫理・社会2		
概要	日本の地誌			概要	社会保障制度		
第10回	政治1			第25回	倫理・社会3		
概要	民主政治			概要	青年期の心理		
第11回	政治2			第26回	倫理・社会4		
概要	日本国憲法			概要	社会集団と現代社会の構造		
第12回	政治3			第27回	倫理・社会5		
概要	基本的人権			概要	日本・東洋の思想(1)		
第13回	政治4			第28回	倫理・社会6		
概要	立法権・国会／行政権・内閣			概要	日本・東洋の思想(2)		
第14回	政治5			第29回	倫理・社会7		
概要	行政権・内閣司法権・裁判所			概要	西洋の思想(1)		
第15回	政治6			第30回	倫理・社会8		
概要	地方自治/選挙制度と政党政治			概要	西洋の思想(2)		
成績評価の方法		前期・後期に行う筆記試験の得点の平均による。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	体育			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	2	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	基礎	演習		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
集団で体を動かすことによって、基礎体力を維持するとともに、社会性・協調性・精神的充実感を向上させる。							
教科書				参考書			
授業の概要							
第1回	オリエンテーション			第16回	オリエンテーション		
概要	授業概要・グループ決め			概要	授業概要・グループ決め		
第2回	アルティメット			第17回	バレーボール		
概要	ゲーム①			概要	ゲーム①		
第3回	アルティメット			第18回	バレーボール		
概要	ゲーム②			概要	ゲーム②		
第4回	ドッチボール			第19回	バレーボール		
概要	ゲーム			概要	ゲーム③		
第5回	バレーボール			第20回	バレーボール		
概要	ゲーム①			概要	ゲーム④		
第6回	バスケットボール			第21回	バレーボール		
概要	ゲーム①			概要	ゲーム⑤		
第7回	バスケットボール			第22回	バスケットボール		
概要	ゲーム②			概要	ゲーム①		
第8回	バスケットボール			第23回	バスケットボール		
概要	ゲーム③			概要	ゲーム②		
第9回	バスケットボール			第24回	バスケットボール		
概要	ゲーム④			概要	ゲーム③		
第10回	バスケットボール			第25回	バスケットボール		
概要	ゲーム⑤			概要	ゲーム④		
第11回	フットサル			第26回	バスケットボール		
概要	ゲーム①			概要	ゲーム⑤		
第12回	フットサル			第27回	フットサル		
概要	ゲーム②			概要	ゲーム①		
第13回	フットサル			第28回	フットサル		
概要	ゲーム③			概要	ゲーム②		
第14回	フットサル			第29回	フットサル		
概要	ゲーム④			概要	ゲーム③		
第15回	フットサル			第30回	フットサル		
概要	ゲーム⑤			概要	ゲーム④		
成績評価の方法		出席状況と授業態度で評価する。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	礼式訓練・体力錬成 1			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	2	授業時間	90分	授業回数	15回	履修学年	1年
分野	基礎	演習		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
礼節を明らかにして規律を正し、和衷共同にして団結を強固にし、確実軽快な部隊行動ができる。 将来消防官として職務遂行ができる統制のある規律と精神力、体力増進の基礎を体得する。							
教科書				参考書	消防訓練礼式の基準		
授業の概要							
第1回	停止間の動作(1)			体力錬成の概要			
概要	・気を付け ・整列休め ・休め			(1) ウォームアップ			
第2回	停止間の動作(2)			(2) 柔軟体操			
概要	・気を付け ・整列休め ・休め			(3) ランニング			
第3回	停止間の動作(3)			(4) 腕立て伏せ			
概要	・右向け右 ・左向け左 ・回れ右			(5) 背筋			
第4回	停止間の動作(4)			(6) 腹筋			
概要	・右向け右 ・左向け左 ・回れ右			(7) スクワット			
第5回	行進間の動作(1)			(8) バーギージャンプ			
概要	・前へ進め ・速足とまれ			(9) 振幅横跳び			
第6回	行進間の動作(2)			(10) ラウンジスクワット			
概要	・回れ右前へ進め			(11) ダッシュ			
第7回	行進間の動作(3)			(12) 背走			
概要	・右向け前へ進め ・左向け前へ進め ・速足とまれ			(13) ファイヤマンズキャリー			
第8回	行進間の動作(3)			(14) サドルバッグキャリー			
概要	・右向け前へ進め ・左向け前へ進め ・速足とまれ			(15) クールダウン			
第9回	停止間から行進間の動作(1)			※ 天候により変更あり。			
概要	・側面縦隊の行進						
第10回	停止間から行進間の動作(2)						
概要	・側面縦隊の行進						
第11回	停止間から行進間の動作(3)						
概要	・速足進め ・駆け足進め ・とまれ						
第12回	服装・手帳の点検						
概要	・帽子 ・上下衣 ・手帳						
第13回	敬礼						
概要	・拳手の敬礼 ・室内の敬礼 ・部隊の敬礼						
第14回	点検要領(1)						
概要	・通常点検						
第15回	点検要領(2)						
概要	・通常点検						
成績評価の方法		採点表による実技試験及び体力試験により評価する。。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	文章作成 1			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	単位	授業時間	90 分	授業回数	15 回	履修学年	1 年
分野	基礎分野	演習		自由		前期	
授業の目標・ねらい							
<p>本校の授業を理解するためのみならず、卒業後も職業人として、また一個人として発展的に生きていく上で不可欠な、日本語の読み書きの基本を身に付けるきっかけとしたい。本授業のみでは量的に全く不十分であり、これを契機に「読み書き」の習慣を身に付け、一生のスパンでそれを続けることを強く勧める。なお、各回の概要は主たる内容であり、それ以外の内容を追加することがある。</p>							
教科書	とくになし			参考書			
授業の概要							
第1回	日本語の文章を音読する						
概要							
第2回	話を聞いてノートまたはメモを取る (1)						
概要							
第3回	話を聞いてノートまたはメモを取る (2)						
概要							
第4回	適切な単語を選択する (1)						
概要							
第5回	適切な単語を選択する (2)						
概要							
第6回	適切な単語を選択する (3)						
概要							
第7回	正しい日本語に修正する (1)						
概要							
第8回	正しい日本語に修正する (2)						
概要							
第9回	正しい日本語に修正する (3)						
概要							
第10回	短い文章の要約を書く (1)						
概要							
第11回	短い文章の要約を書く (2)						
概要							
第12回	短い文章の要約を書く (3)						
概要							
第13回	自分の体験を文章にする (1)						
概要							
第14回	自分の体験を文章にする (2)						
概要							
第15回	自分の体験を文章にする (3)						
概要							
成績評価の方法	レポートの提出状況と内容で評価し、60点以上を合格とする。						

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	人体の構造と機能			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	6 単位	授業時間	90分	授業回数	45回	履修学年	1年
分野	専門基礎	講義		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
<p>人体の構造と機能を有機的に理解し、近い将来に学ぶべき臨床的諸問題に結びつけて想起できるようにする。人体の構造と機能は医学の基本中の基本である。本校で学習するすべての専門知識の本当の理解は、本科目を理解してはじめて可能となる。</p>							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版 p.68～p.207			参考書	マリーブ人体の構造と機能 第4 版		
授業の概要							
第1回	人体を構成する要素(1)			第16回	感覚系(1)		
概要	人体の作りとその役割			概要	総論 視覚		
第2回	人体を構成する要素(2)			第17回	感覚系(2)		
概要	体液			概要	聴覚 平衡感覚 嗅覚 味覚 体性感覚		
第3回	体表からみる人体の構造(1)			第18回	呼吸系(1)		
概要				概要	救急救命士標準テキスト第9版 p.68～p.207		
第4回	体表からみる人体の構造(2)			第19回	呼吸系(2)		
概要				概要	胸郭 胸膜 肺		
第5回	確認テスト①			第20回	呼吸系(3)		
概要				概要	換気 ガス交換 酸素運搬 呼吸の調節		
第6回	神経系(1)			第21回	確認テスト④		
概要	神経系の構成と役割			概要	感覚系、呼吸系		
第7回	神経系(2)			第22回	循環系(1)		
概要	大脳			概要	総論 心臓の構造		
第8回	神経系(3)			第23回	循環系(2)		
概要	間脳 小脳 脳幹 脊髄			概要	心臓の機能		
第9回	神経系(4)			第24回	循環系(3)		
概要	脳神経			概要	循環の制御		
第10回	神経系(5)			第25回	循環系(4)		
概要	確認テスト② 神経系前半			概要	脈管 心臓模型の観察		
第11回	神経系(6)			第26回	循環系(5)		
概要	脊髄神経 自律神経			概要	確認テスト⑤		
第12回	神経系(7)			第27回	消化系(1)		
概要	伝導路			概要	総論 口腔 咽頭 食道 胃		
第13回	神経系(8)			第28回	消化系(2)		
概要	脳室系 髄膜 脳循環 意識 反射			概要	小腸 大腸 肝臓 胆道		
第14回	神経系(9)			第29回	消化系(3)		
概要	脳模型の観察			概要	膵臓 門脈 腹膜 腸間膜 消化と吸収		
第15回	神経系(10)			第30回	消化系(4)		
概要	確認テスト③ 神経系後半			概要	確認テスト⑥		
成績評価の方法		定期試験(客観式および記述式筆記試験)で60点以上を合格とする。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	人体の構造と機能			対象学科	救急救命士学科	
授業単位	授業時間		授業回数		履修学年	
分野						
授業の目標・ねらい						
教科書				参考書		
授業の概要						
第31回	泌尿系					
概要	総論 腎臓 尿路					
第32回	生殖系(1)					
概要	男性生殖器 女性生殖器(1)					
第33回	生殖系(2)					
概要	女性生殖器(2)					
第34回	内分泌系(1)					
概要	総論 各論(下垂体～甲状腺)					
第35回	内分泌系(2)					
概要	各論(副甲状腺～その他)					
第36回	確認テスト⑦					
概要	泌尿系 生殖系 内分泌系					
第37回	血液・免疫系(1)					
概要	総論 血球					
第38回	血液・免疫系(2)					
概要	血漿 骨髄 脾臓 止血・凝固					
第39回	血液・免疫系(3)					
概要	免疫					
第40回	筋・骨格系(1)					
概要	総論 筋肉					
第41回	筋・骨格系(2)					
概要	骨 関節 靭帯					
第42回	確認テスト⑧					
概要	血液・免疫系 筋・骨格系					
第43回	皮膚系 栄養素とその代謝					
概要						
第44回	生命の維持					
概要						
第45回	確認テスト⑨					
概要	皮膚系 生命の維持					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	救急医療概論			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	2	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	専門	講義		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
1. 救急医療の概念と体制について説明することができる。 2. 災害医療の体制と救急隊としての活動を説明し、トリアージを実施できる。 3. 救急救命士の制度、養成、業務を救急救命士法の観点から説明できる。 4. 救急活動の基本となる安全管理、感染対策、救急隊員の精神衛生について説明できる。							
教科書	救急救命士標準テキスト改定第9版 上巻 P.286～388			参考書			
授業の概要							
第1回	救急医療体制			第16回	救急救命士と傷病者の関係		
概要	病院前医療			概要	救急活動でのインフォームドコンセント		
第2回	救急医療体制			第17回	救急救命士に関連する法令		
概要	救急医療システム			概要	法令の基本～救急救命士法		
第3回	救急医療体制			第18回	救急救命士に関連する法令		
概要	救急医療情報			概要	医師法～消防法		
第4回	災害医療体制			第19回	救急救命士に関連する法令		
概要	災害の概念～多数傷病者対応			概要	医療法～その他の法令		
第5回	災害医療体制			第20回	確認テスト		
概要	トリアージ～大規模災害			概要			
第6回	災害医療体制			第21回	救急救命士の養成と生涯教育		
概要	大規模災害～特殊災害			概要	救急救命士の養成課程～病院実習		
第7回	災害医療体制			第22回	安全管理と事故対応		
概要	トリアージの実施			概要	安全管理～傷病者の事故		
第8回	確認テスト			第23回	安全管理と事故対応		
概要				概要	救急救命士等の事故～救急活動における事故の報告と対応		
第9回	病院前医療体制			第24回	感染対策		
概要	救命の連鎖～市民による一次救命処置			概要	感染予防策と感染防護～救急活動での感染防御		
第10回	病院前医療体制			第25回	感染対策		
概要	市民教育～メディカルコントロール			概要	洗浄と消毒		
第11回	消防機関における救急活動の流れ			第26回	感染対策		
概要	119番受信と通信体制～通信体制			概要	感染事故と事故後の対応		
第12回	消防機関における救急活動の流れ			第27回	ストレスに対するマネジメント		
概要	救急活動の記録～他の関係機関との連携			概要	救急活動でのストレス		
第13回	救急救命士の役割と責任			第28回	ストレスに対するマネジメント		
概要	果たすべき役割～医療関係職種としての責任			概要	救急活動でのストレスへの対応		
第14回	確認テスト			第29回	確認テスト		
概要				概要			
第15回	救急救命士と傷病者の関係			第30回	ケーススタディ		
概要	接遇とコミュニケーション～対象に応じたコミュニケーション			概要			
成績評価の方法		前期定期試験と授業態度により評価する。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	観察・評価			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	2	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	専門	講義		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
知識だけでなく健常者で実際に所見がとれる。かつ、スムーズに観察・処置が行える。							
教科書	救急救命士標準テキスト改定第9版 上巻 P. 390～455			参考書	人体の構造と機能 救急救命処置法 JPTEC		
授業の概要							
第1回	観察①			第16回	局所の観察③・実技		
概要	A 観察の目的と意義 B バイタルサイン			概要	F 鼠径部 G 骨盤 H 四肢 I 手指		
第2回	観察②・実技			第17回	局所の観察④		
概要	C 観察の方法			概要	J 各種病態の観察アルゴリズム		
第3回	現場活動の基本①			第18回	局所の観察⑤・実技		
概要	A 状況評価 B 初期評価			概要	A～Jの復習		
第4回	現場活動の基本②			第19回	緊急度・重症度判断①		
概要	C 全身観察と重点観察			概要	A 緊急度と重症度 B 判断の基準(1)		
第5回	現場活動の基本③			第20回	緊急度・重症度判断②		
概要	D 緊急度・重症度判断と医療機関選定			概要	A 緊急度と重症度 B 判断の基準(2)		
第6回	現場活動の基本④			第21回	確認テスト		
概要	E 搬送と車内活動			概要			
第7回	全身状態の観察①・実技			第22回	資機材による観察①・実技		
概要	A 外見の観察(1体位～7皮膚)			概要	A パルスオキシメータ B カプノメータ		
第8回	全身状態の観察②・実技			第23回	資機材による観察②・実技		
概要	A 外見の観察(8失禁～13行動)			概要	C 聴診器 D 血圧計		
第9回	全身状態の観察③・実技			第24回	資機材による観察③・実技①		
概要	B、C 気道・呼吸に関する観察			概要	E 心電図モニター 十二誘導		
第10回	全身状態の観察④・実技			第25回	実技②		
概要	D 循環に関する観察			概要	E 十二誘導		
第11回	全身状態の観察⑤・実技			第26回	実技③		
概要	E 神経に関する観察			概要	E 十二誘導		
第12回	全身状態の観察⑥・実技			第27回	実技④		
概要	A～Eの復習			概要	E 十二誘導		
第13回	確認テスト			第28回	資機材による観察④・実技		
概要				概要	F 体温計 G 血糖測定器		
第14回	局所の観察①・実技			第29回	確認テスト		
概要	A観察結果の表現 B 皮膚 C 頭部			概要			
第15回	局所の観察②・実技			第30回	復習		
概要	D 胸部(背部) E 腹部			概要			
成績評価の方法		前期定期試験により評価する。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	救急処置 1			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	3	授業時間	90分	授業回数	45回	履修学年	1年
分野	専門	演習		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
<p>救急活動における処置や資器材を使用するための基礎分野となる。 講義では的確な使用方法を学び、実技においては確実な資器材の取扱ができるための基礎訓練を行い各資器材の活用がスムーズにできる。</p>							
教科書	第9版 救急救命士標準テキスト上巻 P.456～588			参考書	救急救命処置法		
授業の概要							
第1回	座学(1) 気道確保・経口・経鼻エアウェイ			第16回	座学(6) 除細動器取扱要領		
概要	気道確保の方法と資器材の取扱要領			概要	除細動器の概要と取扱要領		
第2回	実技① 気道確保の方法			第17回	実技① 除細動器取扱要領		
概要	用手気道確保・器具を使った気道確保			概要	除細動器取扱		
第3回	実技② 気道確保の方法			第18回	実技② 除細動器取扱要領		
概要	用手気道確保・器具を使った気道確保			概要	除細動器取扱		
第4回	座学(2) 吸引器 酸素投与方法			第19回	座学(7) 体位管理		
概要	口腔内吸引要領 酸素投与方法			概要	体位の種類と適応		
第5回	実技① 吸引器、酸素投与取扱要領			第20回	実技① 体位の適応と判断		
概要	器具を使用した吸引 酸素投与			概要	仰臥位 側臥位 腹臥位 回復体位		
第6回	実技② 吸引器、酸素投与取扱要領			第21回	実技② 体位の適応と判断		
概要	器具を使用した吸引 酸素投与			概要	起坐位 足側高位 妊婦の側臥位 膝屈曲		
第7回	座学(3) 人工呼吸			第22回	座学(8) 止血 創傷処置 固定		
概要	成人 小児 乳児の人工呼吸法			概要	止血 固定 創傷処置の適応と判断		
第8回	実技① 成人小児乳児の人工呼吸法			第23回	実技① 止血法		
概要	人工呼吸法 BVM 気管切開			概要	直接圧迫法 間接圧迫法 止血帯		
第9回	実技② 成人小児乳児の人工呼吸法			第24回	実技② 創傷処置		
概要	デマンド インハレータ取扱要領			概要	三角巾 止血帯 副子固定		
第10回	座学(4) 胸骨圧迫			第25回	実技③ 創傷処置		
概要	成人 小児 乳児の胸骨圧迫			概要	三角巾 止血帯 副子固定		
第11回	実技① 胸骨圧迫			第26回	実技④ 固定処置		
概要	胸骨圧迫1人法 二人法			概要	陰圧ギブス		
第12回	実技② 胸骨圧迫			第27回	実技⑤ 固定処置		
概要	胸骨圧迫1人法 二人法			概要	ショックパンツ KED		
第13回	座学(5) 自動式心マッサージ器			第28回	実技⑥ 固定処置		
概要	LUCAS ルーカstype			概要	バックボード スクープ サブストレッチャー		
第14回	実技① 自動式心マッサージ器			第29回	実技⑦ 固定処置		
概要	LUCAS ルーカstype取扱			概要	バックボード スクープ サブストレッチャー		
第15回	実技② 自動式心マッサージ器			第30回	座学(9) 考査(1)		
概要	LUCAS ルーカstype取扱			概要	座学確認テスト①		
成績評価の方法		前期定期試験により評価する。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	救急処置 1			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	3	授業時間	90分	授業回数	45回	履修学年	1年
分野	専門	演習		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
救急活動における処置や資器材を使用するための基礎分野となる。 講義では的確な使用方法を学び、実技においては確実な資器材の取扱ができるための基礎訓練を行い各資器材の活用がスムーズにできる。							
教科書	第9版 救急救命士標準テキスト上巻 P.456～588			参考書	救急救命処置法		
授業の概要							
第31回	座学(10) 救急蘇生法						
概要	成人の救急蘇生法						
第32回	座学(11) 救急蘇生法						
概要	小児 乳児の蘇生法						
第33回	実技① 成人の心肺蘇生法						
概要	成人の心肺蘇生法						
第34回	実技② 成人の心肺蘇生法						
概要	成人の心肺蘇生法						
第35回	実技③ 小児 乳児の心肺蘇生法						
概要	小児 乳児の心肺蘇生法						
第36回	実技④ 小児 乳児の心肺蘇生法						
概要	小児 乳児の心肺蘇生法						
第37回	座学(12) 在宅療法継続中の傷病者の処置						
概要	在宅酸素 人工呼吸 気管切開孔						
第38回	座学(13) 在宅療法継続中の傷病者の処置						
概要	ペースメーカー 経管栄養						
第39回	座学(14) 在宅療法継続中の傷病者の処置						
概要	尿道カテーテル 人工肛門						
第40回	座学(15) 傷病者搬送						
概要	A搬送総論 B搬送方法 C搬送手段						
第41回	座学(16) 傷病者搬送						
概要	Dr への搬入と搬出 E車外救出						
第42回	実技① 搬送 救出						
概要	A搬送総論 B搬送方法 C搬送手段						
第43回	実技② 搬送 救出						
概要	Dr への搬入と搬出 E車外救出						
第44回	座学(17) 考査(2)						
概要	座学確認テスト②						
第45回	座学(18) 考査(3)						
概要	実技確認テスト①						
成績評価の方法		前期定期試験により評価する。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	救急処置 2			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	3	授業時間	90分	授業回数	45回	履修学年	1年
分野	専門	演習		必修		後期	
授業の目標・ねらい							
救急活動にて処置や資機材を使用するための基礎分野となる。講義にて的確な使用方法を学び、実際に資機材に触れ、訓練を行い理解を深めたい。本科目では特定行為について学ぶ。							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版 p.456-588			参考書	救急救命処置法		
授業の概要							
第1回	気管挿管の基礎知識(座学)			第16回	声門上気道デバイスを用いた気道確保(3)		
概要				概要	LT取り扱い		
第2回	喉頭展開 (1)			第17回	静脈確保とアドレナリン投与の基礎知識(座学)		
概要				概要			
第3回	喉頭展開 (2)			第18回	静脈穿刺(1)		
概要				概要			
第4回	喉頭展開 (3)			第19回	静脈穿刺(2)		
概要				概要			
第5回	気管挿管 (1)			第20回	静脈穿刺(3)		
概要				概要			
第6回	気管挿管 (2)			第21回	輸液路の準備と静脈穿刺 (1)		
概要				概要			
第7回	気管挿管 (3)			第22回	輸液路の準備と静脈穿刺 (2)		
概要				概要			
第8回	気管挿管(4) ビデオ喉頭鏡			第23回	輸液路の準備と静脈穿刺 (3)		
概要				概要			
第9回	気管挿管とCPRの組合せ (1)			第24回	静脈確保とアドレナリンの投与 (1)		
概要				概要			
第10回	気管挿管とCPRの組合せ (2)			第25回	静脈確保とアドレナリンの投与 (2)		
概要				概要			
第11回	気管挿管とCPRの組合せ (3)			第26回	静脈確保とアドレナリンの投与 (3)		
概要				概要			
第12回	気管挿管実技テスト (1)			第27回	静脈確保とアドレナリンの投与 (4)		
概要				概要			
第13回	気管挿管実技テスト (2)			第28回	静脈確保、薬剤投与とCPRの組合せ (1)		
概要				概要			
第14回	声門上気道デバイスを用いた気道確保(1)			第29回	静脈確保、薬剤投与とCPRの組合せ (2)		
概要	LM、アイジェル取り扱い			概要			
第15回	声門上気道デバイスを用いた気道確保(2)			第30回	静脈確保、薬剤投与とCPRの組合せ (3)		
概要	コンビチューブ、スミウエイ取り扱い			概要			
成績評価の方法		実技試験による。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	救急処置 2			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	3	授業時間	90分	授業回数	45回	履修学年	1年
分野	専門	演習		必修		後期	
授業の目標・ねらい							
<p>救急活動にて処置や資機材を使用するための基礎分野となる。講義にて的確な使用方法を学び、実際に資機材に触れ、訓練を行い理解を深めたい。本科目では特定行為について学ぶ。</p>							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版2巻			参考書	救急救命処置法		
授業の概要							
第31回	薬剤投与実技テスト(1)						
概要							
第32回	薬剤投与実技テスト(2)						
概要							
第33回	体液とその変動(復習、座学)						
概要							
第34回	ショックに対する輸液(1)						
概要							
第35回	ショックに対する輸液(2)						
概要							
第36回	ショックに対する輸液テスト(1)						
概要							
第37回	ショックに対する輸液テスト(2)						
概要							
第38回	糖代謝と低血糖の復習(座学)						
概要							
第39回	血糖値測定の基礎(座学)						
概要							
第40回	血糖値の測定						
概要							
第41回	ブドウ糖液の投与(1)						
概要							
第42回	ブドウ糖液の投与(2)						
概要							
第43回	ブドウ糖液の投与(3)						
概要							
第44回	ブドウ糖液の投与テスト(1)						
概要							
第45回	ブドウ糖液の投与テスト(2)						
概要							
成績評価の方法		実技試験による。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	救急症候・病態生理学1,2			対象学科	救急救命士学科	
授業単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	専門分野	講義	必修		後期	
授業の目標・ねらい						
<p>1. 重症傷病者で支配的な病態となる呼吸不全、心不全、ショック、重症脳障害、心肺停止に関する概念、病態、原因、症候、対応について、それぞれ説明できる。</p> <p>2. 救急傷病者で頻度の高い重要症候を挙げ、それぞれの概念、病態、原因、対応について説明できる。</p>						
教科書	救急救命士標準テキスト第9版 下巻 p.590-654			参考書		
授業の概要						
第1回	呼吸不全(1)			第16回	重症脳障害(1)	
概要	定義と概念 基本的病態 呼吸仕事量			概要	総論 発症機序	
第2回	呼吸不全(2) 拘束性・閉塞性換気障害			第17回	重症脳障害(2)	
概要	生体への影響 症候 緊急度・重症度			概要	一次性・二次性脳病変 頭蓋内圧亢進	
第3回	呼吸不全(3) 呼吸運動の障害 気道の障害 肺胞の			第18回	重症脳障害(3)	
概要	障害 肺胞の障害 肺間質の障害			概要	脳ヘルニア 特殊な意識障害	
第4回	呼吸不全(4)			第19回	重症脳障害(4)	
概要	確認テスト①			概要	確認テスト④	
第5回	心不全(1)			第20回	心肺停止(1) 総論	
概要	定義と概念 原因疾患			概要	心肺停止に至る病態 生体酸素状況	
第6回	心不全(2)			第21回	心肺停止(2)	
概要	病態生理			概要	主な原因疾患 心電図分類	
第7回	心不全(3) 症候 種類 急性増悪			第22回	心肺停止(3)	
概要	現場活動			概要	心肺蘇生中の循環 心拍再開後の病態	
第8回	心不全(4)			第23回	心肺停止(4)	
概要	確認テスト②			概要	確認テスト⑤	
第9回	ショック(1) 定義と概念 種類と分類			第24回	意識障害(1)	
概要	病態			概要	原因 随伴症候	
第10回	ショック(2) 判断 各種ショック判別			第25回	意識障害(2) 判別を要する病態	
概要	緊急度重症度、共通の観察と処置			概要	緊急度・重症度の判断 現場活動	
第11回	ショック(3)			第26回	頭痛(1)	
概要	循環血液量減少性ショック(1)			概要	発症機序 分類 原因疾患	
第12回	ショック(4)			第27回	頭痛(2) 発症の状況 性状 随伴症候	
概要	循環血液量減少性ショック(2)			概要	緊急度・重症度の判断 現場活動	
第13回	ショック(5) 心原性ショック			第28回	痙攣(1)	
概要	心外閉塞・拘束性ショック			概要	定義・概念 病態 種類 原因疾患	
第14回	ショック(6)			第29回	痙攣(2) 随伴症候 判別を要する病態	
概要	血液分布異常性ショック			概要	緊急度・重症度の判断 現場活動	
第15回	ショック(7)			第30回	確認テスト⑥	
概要	確認テスト③			概要	意識障害 頭痛 痙攣	
成績評価の方法		定期試験(客観式および記述式筆記試験)およびレポートの内容で評価し、60点以上を合格とする。1と2の試験と評価は共通とする。				

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	救急症候・病態生理学 3			対象学科	救急救命士学科		
授業単位		授業時間	90分	授業回数	15回	履修学年	1年
分野	専門分野	講義		必修		後期	
授業の目標・ねらい							
1. 傷病者の病態を判断するための知識の部分なので各病態の特徴を理解する。 2. 救急の症例が多く、迅速な行動が求められるため正確な知識を身につける。							
教科書	第9版 救急救命士標準テキスト下巻 P.655～679			参考書			
授業の概要							
第1回	運動麻痺①						
概要	定義・概念 発症機序 分類						
第2回	運動麻痺②						
概要	原因疾患 随伴症候						
第3回	運動麻痺③						
概要	判別を要する病態 緊急度・重症度の判断 確認テスト						
第4回	めまい①						
概要	定義・概念 発症機序 分類 原因疾患						
第5回	めまい②						
概要	随伴症候 緊急度・重症度の判断						
第6回	めまい③						
概要	確認テスト						
第7回	呼吸困難①						
概要	定義・概念 分類 原因疾患						
第8回	呼吸困難②						
概要	随伴症候 緊急度・重症度の判断 現場活動						
第9回	腹痛③						
概要	確認テスト						
第10回	喀血①						
概要	定義 分類 喀血による影響 原因疾患						
第11回	喀血②						
概要	判別を要する病態 緊急度・重症度の判断 現場活動						
第12回	喀血③						
概要	確認テスト						
第13回	失神①						
概要	定義・概念 原因疾患						
第14回	失神②						
概要	判別を要する病態 緊急度・重症度の判断 現場活動						
第15回	復習						
概要							
成績評価の方法		定期試験で評価する。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	救急症候病態生理学4			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	授業時間	90分	授業回数	15回	履修学年	1年	
分野	専門分野	講義		必修		後期	
授業の目標・ねらい							
救急現場にて病態の理解は必要不可欠であり、その知識がなければ傷病者の観察や処置を的確に行う事は難しい。そのための基礎知識を学んでいく。							
教科書	救急救命士標準テキスト下巻 改訂 第9版 P.680～707			参考書			
授業の概要							
第1回	胸痛						
概要	定義・概念～原因疾患						
第2回	胸痛						
概要	原因疾患～現場活動						
第3回	動悸						
概要	定義・概念～原因疾患						
第4回	動悸						
概要	随伴症候～現場活動						
第5回	腹痛						
概要	発症機序～部位						
第6回	腹痛						
概要	既往歴～現場活動						
第7回	確認テスト						
概要	胸痛～腹痛						
第8回	吐血・下血						
概要	定義・概念～病態						
第9回	吐血・下血						
概要	病態～現場活動						
第10回	腰痛・背部痛						
概要	定義・概念～原因疾患						
第11回	腰痛・背部痛						
概要	緊急度・重症度の判断～現場活動						
第12回	体温上昇						
概要	定義・概念～発熱の分類と種類						
第13回	体温上昇						
概要	原因疾患～現場活動						
第14回	確認テスト						
概要	吐血・下血～体温上昇						
第15回							
概要	ケーススタディ						
成績評価の方法		後期定期試験と授業態度で評価する。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	シミュレーション基本 1			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	3単位	授業時間	90分	授業回数	60回	履修学年	1年
分野	専門分野	実習		必修		後期	
授業の目標・ねらい							
短く単純なシナリオに沿って模擬傷病者を観察し、判断を下して基本的な処置を行える							
教科書	救急救命士標準テキスト改訂第9版			参考書	救急資器材管理マニュアル 図解救急資器材取扱マニュアル		
授業の概要							
	概要			予習すべき事項			
症例1 (第1～4回)	野球の打球が胸に当たり意識がない			心電図モニター 除細動			
症例2 (第5～8回)	蜂に刺された			エピペン			
症例3 (第9～12回)	2階のベランダから転落した			止血方法			
症例4 (第13～16回)	在宅酸素療法者の呼吸苦			在宅療法			
症例5 (第17～20回)	工場で指を切断した			切断四肢の処置			
症例6 (第21～24回)	病院まで時間を要する心肺停止			ルーカス CPR			
症例7 (第25～28回)	包丁で数カ所刺された			三辺テーピング 腸管被覆			
症例8 (第29～32回)	在宅療養中の男性で意識がない			気管瘻 人工呼吸			
症例9 (第33～36回)	子供がプールで溺れている			小児のCPR			
症例10 (第37～40回)	気分不快と動悸を訴えている			血糖測定			
症例11 (第41～44回)	食事中に苦しみだした			気道異物除去法			
症例12 (第45～48回)	作業の足場から墜落した			外傷の観察 バックボードの取扱い			
症例13 (第49～52回)	胸痛を訴えている			心電図モニター 十二誘導			
症例14 (第53～56回)	自宅の階段から転落した			気道確保			
症例15 (第57～60回)	3歳の男児が浴槽に落ちた			熱傷に対する処置			
成績評価の方法	採点表による実技試験によって評価する。						

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	礼式・体力錬成 2			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	2	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	2年
分野	基礎	演習		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
礼節を明らかにして規律を正し、和衷共同にして団結を強固にし、确实軽快な部隊行動ができる。 将来消防官として職務遂行ができる統制のある規律と精神力、体力増進の基礎を体得する。							
教科書				参考書	消防訓練礼式の基準		
授業の概要							
第1回	停止間の動作(1)			体力錬成の概要			
概要	・気を付け ・整列休め ・休め			(1) ウォームアップ			
第2回	停止間の動作(2)			(2) 柔軟体操			
概要	・気を付け ・整列休め ・休め			(3) ランニング			
第3回	停止間の動作(3)			(4) 腕立て伏せ			
概要	・右向け右 ・左向け左 ・回れ右			(5) 背筋			
第4回	停止間の動作(4)			(6) 腹筋			
概要	・右向け右 ・左向け左 ・回れ右			(7) スクワット			
第5回	行進間の動作(1)			(8) バーギージャンプ			
概要	・前へ進め ・速足とまれ			(9) 振幅横跳び			
第6回	行進間の動作(2)			(10) ラウンジスクワット			
概要	・回れ右前へ進め			(11) ダッシュ			
第7回	行進間の動作(3)			(12) 背走			
概要	・右向け前へ進め ・左向け前へ進め ・速足とまれ			(13) ファイヤマンズキャリー			
第8回	行進間の動作(3)			(14) サドルバッグキャリー			
概要	・右向け前へ進め ・左向け前へ進め ・速足とまれ			(15) クールダウン			
第9回	停止間から行進間の動作(1)			※ 天候により変更あり。			
概要	・側面縦隊の亢進						
第10回	停止間から行進間の動作(2)						
概要	・側面縦隊の亢進						
第11回	停止間から行進間の動作(3)						
概要	・速足進め ・駆け足進め ・とまれ						
第12回	服装・手帳の点検						
概要	・帽子 ・上下衣 ・手帳						
第13回	敬礼						
概要	・挙手の敬礼 ・室内の敬礼 ・部隊の敬礼						
第14回	点検要領(1)						
概要	・通常点検						
第15回	点検要領(2)						
概要	・通常点検						
成績評価の方法		採点表による実技試験及び体力試験により評価する。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	礼式・体力錬成 2			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	2	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	2年
分野	基礎	演習		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
礼節を明らかにして規律を正し、和衷共同にして団結を強固にし、确实軽快な部隊行動ができる。 将来消防官として職務遂行ができる統制のある規律と精神力、体力増進の基礎を体得する。							徽章授与式に向けて準備も行う。
教科書				参考書	消防訓練礼式の基準		
授業の概要							
第16回	停止間の動作(1)			体力錬成の概要			
概要	・気を付け ・整列休め ・休め			(1) ウォームアップ			
第17回	停止間の動作(2)			(2) 柔軟体操			
概要	・気を付け ・整列休め ・休め			(3) ランニング			
第18回	停止間の動作(3)			(4) 腕立て伏せ			
概要	・右向け右 ・左向け左 ・回れ右			(5) 背筋			
第19回	停止間の動作(4)			(6) 腹筋			
概要	・右向け右 ・左向け左 ・回れ右			(7) スクワット			
第20回	行進間の動作(1)			(8) バーギージャンプ			
概要	・前へ進め ・速足とまれ			(9) 振幅横跳び			
第21回	行進間の動作(2)			(10) ラウンジスクワット			
概要	・回れ右前へ進め			(11) ダッシュ			
第22回	行進間の動作(3)			(12) 背走			
概要	・右向け前へ進め ・左向け前へ進め ・速足とまれ			(13) ファイヤマンズキャリー			
第23回	行進間の動作(3)			(14) サドルバッグキャリー			
概要	・右向け前へ進め ・左向け前へ進め ・速足とまれ			(15) クールダウン			
第24回	停止間から行進間の動作(1)			※ 天候により変更あり。			
概要	・側面縦隊の行進						
第25回	停止間から行進間の動作(2)						
概要	・側面縦隊の行進						
第26回	停止間から行進間の動作(3)						
概要	・速足進め ・駆け足進め ・とまれ						
第27回	服装・手帳の点検						
概要	・帽子 ・上下衣 ・手帳						
第28回	敬礼						
概要	・挙手の敬礼 ・室内の敬礼 ・部隊の敬礼						
第29回	点検要領(1)						
概要	・通常点検						
第30回	点検要領(2)						
概要	・通常点検						
成績評価の方法		採点表による実技試験及び体力試験により評価する。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	文章作成 2			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	単位	授業時間	90 分	授業回数	15 回	履修学年	2 年
分野	基礎分野	演習		自由		前期	
授業の目標・ねらい							
<p>1年次に行った文章作成を発展させ、やや長い日本語の文章を作成するための訓練を行う。実習レポートが作成できる程度の文章作成力を目標とする。なお、各回の概要は主たる内容であり、それ以外の内容を追加することがある。</p>							
教科書	とくになし			参考書			
授業の概要							
第1回	文章を論理の展開に従って並べ替える (1)						
概要							
第2回	文章を論理の展開に従って並べ替える (2)						
概要							
第3回	文章を論理の展開に従って並べ替える (3)						
概要							
第4回	文章の体裁を整える (1)						
概要							
第5回	文章の体裁を整える (2)						
概要							
第6回	文章の体裁を整える (3)						
概要							
第7回	文章を要約する (1)						
概要							
第8回	文章を要約する (2)						
概要							
第9回	文章を要約する (3)						
概要							
第10回	書きたい内容を文章に表す (1)						
概要							
第11回	書きたい内容を文章に表す (2)						
概要							
第12回	書きたい内容を文章に表す (3)						
概要							
第13回	レポートを書く (1)						
概要							
第14回	レポートを書く (2)						
概要							
第15回	レポートを書く (3) □						
概要							
成績評価の方法		レポートの提出状況と内容で評価し、60点以上を合格とする。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	法医学・病理学・薬理学			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	4	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	2年
分野	専門基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>諸君は1年次の人体の構造と機能を学習し、人体の正常構造を学んできた。2年次では法医学、病理学を通じて異常を学ぶ。諸君が将来、日常的に直面する場面についての学問である。</p>							
教科書	救急救命士標準テキスト改訂第9版 第上巻 P210～282			参考書			
授業の概要							
第1回	疾患(1)			第16回	損傷		
概要	疾患の原因、発症の経過			概要	損傷、創傷治癒		
第2回	疾患(2)			第17回	死(1)		
概要	回復に必要な要素、疾患の予防			概要	死の概念		
第3回	炎症と感染(1)			第18回	死(2)		
概要	炎症、感染症			概要	死体現象		
第4回	炎症と感染(2)			第19回	死(3)		
概要	感染症			概要	死亡にかかわる手続きと検査、死体の尊厳		
第5回	循環障害(1)			第20回	総復習(1)		
概要	虚血、うっ血、出血			概要	疾患、炎症		
第6回	循環障害(2)			第21回	総復習(2)		
概要	血栓と塞栓、梗塞、浮腫			概要	循環障害、代謝障害		
第7回	代謝障害(1)			第22回	総復習(3)		
概要	糖質の代謝障害～ビタミンの異常			概要	退行性病変と進行性病変、腫瘍		
第8回	代謝障害(2)			第23回	総復習(4)		
概要	体液と電解質異常			概要	先天異常、損傷		
第9回	代謝障害(3)			第24回	総復習(5)		
概要	酸塩基平衡異常			概要	死		
第10回	代謝障害(4)			第25回	医薬品の基礎		
概要	内分泌異常			概要	薬物総論、薬物の有害作用		
第11回	退行性病変と進行性病変(1)			第26回	重要な医薬品		
概要	退行性病変			概要	救急救命処置に用いられる薬剤		
第12回	退行性病変と進行性病変(2)			第27回	重要な医薬品		
概要	進行性病変			概要	使用頻度の高い薬～保存と保守管理		
第13回	腫瘍(1)			第28回	検査		
概要	腫瘍とは、良性腫瘍、悪性腫瘍			概要	検査の目的～緊急検査		
第14回	先天異常(1)			第29回	復習		
概要	内因性先天異常			概要			
第15回	先天異常(2)			第30回	復習		
概要	外因性先天異常			概要			
成績評価の方法	筆記試験						

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	呼吸器疾患(+感染症)				対象学科	救急救命士学科	
授業単位	単位	授業時間	90分	授業回数	15回	履修学年	2 学年
分野	専門	講義		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
1. 主な呼吸器疾患の疫学、病因、病態、症候、経過、予後、観察、処置を説明できる。 2. 主な感染症について概要を説明できる。 3. 喫煙の健康に与える影響について説明できる。							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版 下巻p.729～746 p.846～857			参考書			
授業の概要							
第1回	呼吸器疾患(1)						
概要	総論						
第2回	呼吸器疾患(2)						
概要	呼吸不全 上気道の疾患						
第3回	呼吸器疾患(3)						
概要	気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患						
第4回	呼吸器疾患(4)						
概要	無気肺 気管支拡張症 胸膜疾患						
第5回	呼吸器疾患(5)						
概要	確認テスト①						
第6回	呼吸器疾患(6)						
概要	肺炎 肺結核 上気道炎						
第7回	呼吸器疾患(7)						
概要	肺血栓塞栓症 過換気症候群						
第8回	呼吸器疾患(8)						
概要	肺癌 急性呼吸促進症候群 間質性肺炎						
第9回	呼吸器疾患(9)						
概要	喫煙の害						
第10回	呼吸器疾患(10)						
概要	確認テスト②						
第11回	感染症(1)						
概要	総論 敗血症						
第12回	感染症(2)						
概要	結核 インフルエンザ						
第13回	感染症(3)						
概要	食中毒 輸入感染症						
第14回	感染症(4)						
概要	発疹性感染症 性感染症 その他の感染症						
第15回	感染症(5)						
概要	確認テスト③						
成績評価の方法	定期試験(客観式および記述式筆記試験)で60点以上を合格とする。						

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	循環器疾患(+心電図解説)				対象学科	救急救命士学科	
授業単位	単位	授業時間	90分	授業回数	15回	履修学年	2年
分野	専門分野	講義		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
1. 主な循環系疾患の疫学、病因、病態、症候、経過、予後、観察、処置を説明できる。 2. 救急で重要な心電図異常が判断できる。							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版 下巻p.747～774			参考書	心電図の解説書(図書室に複数)		
授業の概要							
第1回	心電図解説(1)						
概要	心電図の基礎 ノイズ 正常波形						
第2回	心電図解説(2)						
概要	期外収縮 頻脈性不整脈						
第3回	心電図解説(3)						
概要	確認テスト① 心電図解説(前半)						
第4回	心電図解説(4)						
概要	ブロック 徐脈性不整脈						
第5回	心電図解説(5)						
概要	心筋虚血 電解質異常						
第6回	心電図解説(6)						
概要	その他(QT延長 低体温 WPW ペースメーカー等)						
第7回	心電図解説(7)						
概要	確認テスト② 心電図解説(後半)						
第8回	循環系疾患(1)						
概要	総論 動脈硬化						
第9回	循環系疾患(2)						
概要	心不全 虚血性心疾患総論 狭心症						
第10回	循環系疾患(3)						
概要	急性心筋梗塞						
第11回	循環系疾患(4)						
概要	確認テスト① 循環系疾患(前半)						
第12回	循環系疾患(5)						
概要	心筋・心膜・弁の疾患 その他の心疾患						
第13回	循環系疾患(6)						
概要	大動脈解離 大動脈瘤						
第14回	循環系疾患(7)						
概要	末梢血管疾患 高血圧						
第15回	循環系疾患(8)						
概要	確認テスト② 循環系疾患(後半)						
成績評価の方法		定期試験(客観式および記述式筆記試験)で60点以上を合格とする。心電図解説と循環系疾患の定期試験は別個に行う。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	消化器疾患(+泌尿・生殖器疾患)				対象学科	救急救命士学科	
授業単位	単位	授業時間	90分	授業回数	15回	履修学年	2年
分野	専門分野	講義		必修		後期	
授業の目標・ねらい							
1. 主な消化器疾患の疫学、病因、病態、症候、経過、予後、観察、処置を説明できる。 2. 主な泌尿・生殖系疾患の疫学、病因、病態、症候、経過、予後、観察、処置を説明できる。							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版 下巻 p.775～798			参考書			
第1回	消化器疾患(1)						
概要	総論						
第2回	消化器疾患(2)						
概要	歯・口腔疾患 食道疾患						
第3回	消化器疾患(3)						
概要	胃・十二指腸疾患						
第4回	消化器疾患(4)						
概要	小腸疾患 腸閉塞 ヘルニア						
第5回	消化器疾患(5)						
概要	確認テスト①						
第6回	消化器疾患(6)						
概要	大腸疾患 腹膜炎 肛門疾患						
第7回	消化器疾患(7)						
概要	肝臓疾患						
第8回	消化器疾患(8)						
概要	胆道疾患 膵臓疾患						
第9回	消化器疾患(9)						
概要	確認テスト②						
第10回	泌尿・生殖系疾患(1)						
概要	総論						
第11回	泌尿・生殖系疾患(2)						
概要	急性腎不全・腎障害 慢性腎不全・腎臓病						
第12回	泌尿・生殖系疾患(3)						
概要	透析 その他の腎疾患						
第13回	泌尿・生殖系疾患(4)						
概要	尿路の疾患						
第14回	泌尿・生殖系疾患(5)						
概要	男性生殖系疾患 女性生殖系疾患						
第15回	泌尿・生殖系疾患(6)						
概要	確認テスト③						
成績評価の方法		定期試験(客観式および記述式筆記試験)で60点以上を合格とする。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	神経疾患(+眼・耳・鼻の疾患)			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	単位	授業時間	90分	授業回数	15回	履修学年	2年
分野	専門分野	講義		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
1. 救急で重要な急性神経疾患の疫学、病因、病態、症候、経過、予後、観察、処置を説明できる。 2. 救急で問題となる主な慢性神経疾患について簡単に説明できる。 3. 救急で問題となる主な眼、耳、鼻の疾患について概要を説明できる。							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版 下巻p.710～728、p.839～845			参考書			
授業の概要							
第1回	神経系疾患(1)						
概要	総論						
第2回	神経系疾患(2)						
概要	脳血管障害総論 くも膜下出血						
第3回	神経系疾患(3)						
概要	脳出血						
第4回	神経系疾患(4)						
概要	脳梗塞						
第5回	神経系疾患(5)						
概要	確認テスト①						
第6回	神経系疾患(6)						
概要	その他の脳血管障害						
第7回	神経系疾患(7)						
概要	中枢神経系の感染症						
第8回	神経系疾患(8)						
概要	その他の中枢神経疾患						
第9回	神経系疾患(9)						
概要	末梢神経疾患 末梢神経障害の症候						
第10回	神経系疾患(10)						
概要	確認テスト②						
第11回	眼・耳・鼻の疾患(1)						
概要	総論						
第12回	眼・耳・鼻の疾患(2)						
概要	眼の疾患						
第13回	眼・耳・鼻の疾患(3)						
概要	耳の疾患 鼻の疾患						
第14回	眼・耳・鼻の疾患(4)						
概要	確認テスト③						
第15回	予備日						
概要							
成績評価の方法		定期試験(客観式および記述式筆記試験)で60点以上を合格とする。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	小児疾患、妊産婦疾患				対象学科	救急救命士学科	
授業単位	単位	授業時間	90分	授業回数	15回	履修学年	2年
分野	専門分野	講義		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
1. 小児の成長と発達の概略について説明できる。 2. 主な小児疾患のうち救急で重要なものについて、その概要を説明できる。 3. 正常な妊娠と分娩の過程について説明できる。 4. 妊娠・分娩の合併症のうち救急で重要なものについて、その概要を説明できる。							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版 下巻 p.858-880、894-909			参考書			
授業の概要				分娩介助はシミュレーション応用1(2年次後期)から学習する			
第1回	小児に特有な疾患(1)						
概要	総論						
第2回	小児に特有な疾患(2)						
概要	観察と判断						
第3回	小児に特有な疾患(3)						
概要	熱性痙攣 髄膜炎 脳炎・脳症						
第4回	小児に特有な疾患(4)						
概要	クループ 喉頭蓋炎 急性細気管支炎 喘息						
第5回	小児に特有な疾患(5)						
概要	確認テスト①						
第6回	小児に特有な疾患(6)						
概要	腸重積 急性腹症 HUS 川崎病						
第7回	小児に特有な疾患(7)						
概要	感染症 SIDS 被虐待児症候群						
第8回	小児に特有な疾患(8)						
概要	確認テスト②						
第9回	妊娠・分娩と救急疾患(1)						
概要	正常妊娠						
第10回	妊娠・分娩と救急疾患(2)						
概要	異常妊娠						
第11回	妊娠・分娩と救急疾患(3)						
概要	正常分娩						
第12回	妊娠・分娩と救急疾患(4)						
概要	異常分娩						
第13回	妊娠・分娩と救急疾患(5)						
概要	観察と処置						
第14回	妊娠・分娩と救急疾患(6)						
概要	確認テスト③						
第15回	予備日						
概要							
成績評価の方法		定期試験(客観式および記述式筆記試験)で60点以上を合格とする。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	外傷総論			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	2	授業時間	90 分	授業回数	15 回	履修学年	2 年
分野	専門	講義	必修		後期		
授業の目標・ねらい							
外傷における重症度・緊急度について理解し、観察と判断に基づく現場活動ができる。 外傷のメカニズムやそれに関する各器官の損傷について説明ができる。							
教科書	救急救命士標準テキスト改訂第9版 下巻 P.928～959			参考書	JPTECガイドブック		
授業の概要							
第1回	A 外傷の疫学 (1)						
概要	外傷死 外傷入院患者・救急搬送数						
第2回	A 外傷の疫学 (2)						
概要	外傷による死亡時期 ロードアンドゴー						
第3回	B 受傷機転とエネルギー						
概要	受傷機転 エネルギー 衝突と力学						
第4回	C 外傷の分類						
概要	成傷器 損傷部位 損傷部位の数						
第5回	D 主な受傷形態 (1)						
概要	四輪車 二輪車 自転車 歩行者						
第6回	D 主な受傷形態 (2)						
概要	転落 重量物落下 動力機械 狭圧						
第7回	D 主な受傷形態 (3)						
概要	杵創 爆傷 高圧注入 スポーツ						
第8回	A 侵襲への反応						
概要	循環動態 炎症性メディエーター						
第9回	B 外傷に伴うショック (1)						
概要	出血性ショック 非出血性ショック						
第10回	B 外傷に伴うショック (2)						
概要	出血性ショック 非出血性ショック						
第11回	A 状況評価 (1)						
概要	情報収集 感染防御 資器材の確認						
第12回	A 状況評価 (2)						
概要	安全確認 傷病者数 受傷機転						
第13回	B 傷病者の評価 (1)						
概要	初期評価 全身観察						
第14回	B 傷病者の評価 (2)						
概要	重点観察 重症度・緊急度						
第15回	B 傷病者の評価 (3)						
概要	医療機関選定 搬送中の活動						
成績評価の方法		定期試験により評価する。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	外傷各論			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	2年
分野	専門分野	講義		必修		後期	
授業の目標・ねらい							
1. 各部位の主要な外傷の受傷機転、病態、症候、処置について説明できる。 2. 熱傷、化学損傷、電撃症・雷撃症、縊頸・絞頸、刺咬症の概要を、それぞれ説明できる。							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版 下巻 p.960-1053			参考書			
授業の概要							
第1回	頭部外傷(1)			第16回	四肢外傷		
概要	特徴			概要	主な外傷 現場活動		
第2回	頭部外傷(2)			第17回	確認テスト③		
概要	主な外傷			概要	腹部外傷 骨盤外傷 四肢外傷		
第3回	頭部外傷(3)			第18回	皮膚・軟部組織外傷		
概要	続発症・後遺症 現場活動			概要			
第4回	顔面・頸部外傷			第19回	小児・高齢者・妊婦の外傷(1)		
概要				概要			
第5回	確認テスト①			第20回	小児・高齢者・妊婦の外傷(2)		
概要	頭部外傷 顔面・頸部外傷			概要			
第6回	脊椎・脊髄外傷(1)			第21回	熱傷(1)		
概要	脊椎の構造(復習) 脊椎の損傷			概要	受傷機転と病態		
第7回	脊椎・脊髄外傷(2)			第22回	熱傷(2)		
概要	脊髄の構造(復習) 脊髄損傷			概要	評価 処置		
第8回	胸部外傷(1)			第23回	確認テスト④		
概要	特徴 主な外傷(1)			概要			
第9回	胸部外傷(2)			第24回	化学損傷		
概要	主な外傷(2)			概要			
第10回	胸部外傷(3)			第25回	電撃症・雷撃症		
概要	現場活動			概要			
第11回	確認テスト②			第26回	縊頸・絞頸 刺咬症(1) 哺乳類		
概要	脊椎・脊髄外傷 胸部外傷			概要			
第12回	腹部外傷(1)			第27回	刺咬症(2)		
概要	特徴 主な外傷(1)			概要	爬虫類 節足動物 海生動物		
第13回	腹部外傷(2)			第28回	確認テスト⑤		
概要	主な外傷(2) 現場活動			概要			
第14回	骨盤外傷			第29回	予備日		
概要				概要			
第15回	四肢外傷(1)			第30回	予備日		
概要	特徴			概要			
成績評価の方法		定期試験(客観式および記述式筆記試験)で60点以上を合格とする。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	シミュレーション基本 2			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	5単位	授業時間	90分	授業回数	105回	履修学年	2年
分野	専門分野	実習		必修		前期	

授業の目標・ねらい

1学年で習得した救急資器材の取扱いを組み込み、現場活動に限局した単純で短いシナリオに沿ったシミュレーションが行える。

教科書	救急救命士標準テキスト改訂第9版	参考書	JPTEC
-----	------------------	-----	-------

授業の概要

内因性	概要	予習すべき事項
症例1 (第1～4回)	咳と痰による呼吸苦	呼吸器疾患
症例2 (第5～8回)	ハチに刺され蕁麻疹と呼吸苦	アレルギー ショック エピペンについて
症例3 (第9～12回)	急に意識を失った	意識障害をきたす疾患 ブドウ糖投与
症例4 (第13～16回)	仕事中に卒倒	頭蓋内疾患
症例5 (第17～20回)	うまく喋れず、動くこともできない	頭蓋内疾患、筋疾患
症例6 (第21～24回)	道路で卒倒	胸痛をきたす疾患 除細動 CPR
症例7 (第25～28回)	在宅酸素療法者の呼吸苦	呼吸器疾患 在宅酸素療法
症例8 (第29～32回)	呼びかけてもぐったりしている	ショック 感染症 意識障害
症例9 (第33～36回)	リゾートホテルで心肺停止状態	器具を使った気道確保 長距離搬送
症例10 (第37～40回)	動悸と息切れがする	動悸をきたす疾患 アドレナリン投与
症例11 (第41～44回)	胸痛が20分以上継続	胸痛をきたす疾患 ショック
症例12 (第45～48回)	呼びかけても反応がない	意識障害をきたす疾患
症例13 (第49～52回)	急激な胸痛	胸痛をきたす疾患
症例14 (第53～56回)	運動後に呼吸苦	呼吸苦をきたす疾患
症例15 (第57～60回)	急に血を吐いた	吐血・咯血をきたす疾患 ショックの輸液
症例16 (第61～64回)	いきなり倒れ痙攣している	痙攣をきたす疾患

外因性	概要	予習すべき事項
症例17 (第65～68回)	食事中に苦しみだした	気道異物除去法
症例18 (第69～72回)	頸部痛を訴えている	頸部痛を訴える疾患 全身固定
症例19 (第73～76回)	2階から落ちた	高所転落により起こりうる外傷
症例20 (第77～80回)	バイクの単独事故	外傷の観察 バックボードの取扱い
症例21 (第81～84回)	バイクの転倒による単独事故	多発外傷について
症例22 (第85～88回)	高所からの転落	ショックパンツ シーツラッピング
症例23 (第89～92回)	2階から転落	高エネルギー事故 固定器具の取扱い
症例24 (第93～96回)	親指をマル鋸で切断した	切断指の対応
症例25 (第97～100回)	喧嘩をして刃物で刺された	刺入物の固定方法 刺創で起こりうる疾患
症例26 (第101～104回)	炎天下で草刈後に気分不良	体温管理
症例27 (第105回)	まとめ	過去に実施した想定

成績評価の方法	採点表による実技試験によって評価する。
---------	---------------------

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	シミュレーション応用 1			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	5 単位	授業時間	90分	授業回数	105回	履修学年	2年
分野	専門分野	実習		必修		後期	

授業の目標・ねらい

1. すでに学んだ観察、処置の技術を迅速的確に應用できる。
2. 入電からの活動時間を次第に上げ、最終的には車内収容までを含めたやや複雑なシナリオに沿って、シミュレーション活動ができる。

教科書	救急救命士標準テキスト改訂第9版	参考書	JPTEC
-----	------------------	-----	-------

授業の概要

内因性	概要	予習すべき事項
症例1 (第1～4回)	家事の最中に気を失った	失神をきたす疾患 頭蓋内疾患
症例2 (第5～8回)	別荘で倒れていた	器具を使った気道確保 ルーカス
症例3 (第9～12回)	家で倒れていた	意識障害 頭蓋内疾患 体温
症例4 (第13～16回)	呼吸困難を訴えている	呼吸困難 呼吸系疾患
症例5 (第17～20回)	呼びかけても反応が鈍い	意識障害 ブドウ糖投与
症例6 (第21～24回)	仕事中に呼吸困難	呼吸困難 呼吸系疾患
症例7 (第25～28回)	仕事中に胸痛	胸痛をきたす疾患 気管挿管 アドレナリン投与
症例8 (第29～32回)	呼吸困難と気分不良	呼吸困難 循環器疾患
症例9 (第33～36回)	突然の胸痛	胸・腰背部痛をきたす疾患とその合併症
症例10 (第37～40回)	腰を痛がっている	腰背部痛をきたす疾患
症例11 (第41～44回)	息が苦しいと言っている	呼吸困難 循環器疾患
症例12 (第45～48回)	就寝中に血を吐いた	吐血をきたす疾患
症例13 (第49～52回)	急に腹が痛くなった	腹痛をきたす疾患 腹部の観察
症例14 (第53～56回)	子供が熱を出して苦しんでいる	小児疾患
症例15 (第57～60回)	息子が急に気を失った	失神 精神障害

外因性	概要	予習すべき事項
症例16 (第61～64回)	自動車の単独事故	状況評価 外傷に対する処置
症例17 (第65～68回)	乗用車とバイクの衝突事故	状況評価 ロード&ゴー
症例18 (第69～72回)	足場から落ちた	転落・墜落について ショックの輸液
症例19 (第73～76回)	乗用車同士の衝突事故	多数傷病者の対応 多発外傷
症例20 (第77～80回)	喧嘩で腹を刺された	多発外傷に対する処置
症例21 (第81～84回)	乗用車同士の衝突事故	状況評価 高エネルギー事故
症例22 (第85～88回)	作業中にやけどした	熱傷について
症例23 (第89～92回)	子供が溺れている	溺水の処置 小児のCPRと除細動
症例24 (第93～96回)	乗用車の単独事故	外傷CPAに対する対応
症例25 (第97～100回)	赤ん坊が生まれそうだ	妊娠・分娩と救急疾患
症例26 (第101～104回)	妻が下腹部を痛がっている	妊娠・分娩と救急疾患
症例27 (第105回)	まとめ	過去に実施した想定
成績評価の方法	採点表による実技試験によって評価する。	

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	その他の疾患 1			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	単位	授業時間	90 分	授業回数	15 回	履修学年	2 年
分野	専門分野	講義		必修		後期	
授業の目標・ねらい							
1. 糖尿病の概要と、急性代謝失調への対応について説明できる。 2. 水分・電解質異常、急性の代謝・内分泌・栄養障害のうち、救急で重要なものについて概要を説明できる。 3. アナフィラキシーの病態、原因、症候、対応について説明できる。 4. 主な血液・免疫系疾患のうち、救急で重要なものについて説明できる。 5. 救急で問題となる皮疹と皮膚疾患について簡単に説明できる。							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版 下巻p.799-823、p.832-838			参考書			
授業の概要							
第1回	代謝・内分泌・栄養系疾患(1)						
概要	総論 糖尿病(病態、分類、慢性合併症)						
第2回	代謝・内分泌・栄養系疾患(2)						
概要	糖尿病(治療、急性代謝失調以外の急性合併症)						
第3回	代謝・内分泌・栄養系疾患(3)						
概要	糖尿病(急性代謝失調)						
第4回	代謝・内分泌・栄養系疾患(4)						
概要	確認テスト①						
第5回	代謝・内分泌・栄養系疾患(5)						
概要	脱水 電解質異常						
第6回	代謝・内分泌・栄養系疾患(6)						
概要	酸塩基平衡の障害 痛風 その他の代謝異常						
第7回	代謝・内分泌・栄養系疾患(7)						
概要	内分泌疾患						
第8回	代謝・内分泌・栄養系疾患(8)						
概要	栄養疾患						
第9回	代謝・内分泌・栄養系疾患(9)						
概要	確認テスト②						
第10回	血液・免疫系疾患(1)						
概要	総論 血液疾患						
第11回	血液・免疫系疾患(2)						
概要	免疫疾患						
第12回	皮膚疾患(1)						
概要	総論						
第13回	皮膚疾患(2)						
概要	各論						
第14回	確認テスト③						
概要	血液・免疫系疾患 皮膚疾患						
第15回	予備日						
概要							
成績評価の方法		定期試験(客観式および記述式筆記試験)で60点以上を合格とする。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	その他の疾患 2			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	単位	授業時間	90分	授業回数	15回	履修学年	2年
分野	専門分野	講義	必修			後期	
授業の目標・ねらい							
1. 主要な精神症候を簡単に説明できる。 2. 主な精神障害の概要を説明できる。 3. 高齢者と高齢者疾患の特性について説明できる。 4. 高齢者疾患のうち重要なものについて概要を説明できる。 5. 主要な筋・骨格系疾患で救急に関係の深いものについて、概要を説明できる。							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版 下巻 p.910-925、881-893、824-831			参考書			
授業の概要							
第1回	精神障害(1)						
概要	総論(1)分類 疫学 主要症候(前半)						
第2回	精神障害(2)						
概要	総論(2)主要症候(後半) 基本的対応						
第3回	精神障害(3)						
概要	統合失調症 気分障害						
第4回	精神障害(4)						
概要	器質的精神障害 中毒性障害						
第5回	精神障害(5)						
概要	その他の精神障害(1)						
第6回	精神障害(6)						
概要	その他の精神障害(2) 向精神薬の副作用						
第7回	精神障害(7)						
概要	確認テスト①						
第8回	高齢者に特有な疾患(1)						
概要	総論						
第9回	高齢者に特有な疾患(2)						
概要	認知症 高齢者虐待						
第10回	高齢者に特有な疾患(3)						
概要	その他の疾患						
第11回	高齢者に特有な疾患(4)						
概要	確認テスト②						
第12回	筋・骨格系疾患(1)						
概要	総論						
第13回	筋・骨格系疾患(2)						
概要	脊椎疾患						
第14回	筋・骨格系疾患(3)						
概要	関節疾患 筋疾患						
第15回	筋・骨格系疾患(4)						
概要	確認テスト③						
成績評価の方法	定期試験(客観式および記述式筆記試験)で60点以上を合格とする。						

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	礼式訓練・体力錬成 3			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	1	授業時間	90分	授業回数	15回	履修学年	3年
分野	基礎分野	演習		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
礼節を明らかにして規律を正し、和衷共同にして団結を強固にし、確実軽快な部隊行動ができる。将来消防官として職務遂行ができる統制のある規律と精神力、体力増進の基礎を体得する。							
教科書				参考書	消防訓練礼式の基準		
授業の概要							
第1回	停止間の動作(1)			体力錬成の概要			
概要	・気を付け・整列休め・休め			(1) ウォームアップ			
第2回	停止間の動作(2)			(2) 柔軟体操			
概要	・気を付け・整列休め・休め			(3) ランニング			
第3回	停止間の動作(3)			(4) 腕立て伏せ			
概要	・右向け右・左向け左・回れ右			(5) 背筋			
第4回	停止間の動作(4)			(6) 腹筋			
概要	・右向け右・左向け左・回れ右			(7) スクワット			
第5回	行進間の動作(1)			(8) バーピージャンプ			
概要	・前へ進め・速足止まれ			(9) 反復横跳び			
第6回	行進間の動作(2)			(10) ラウンジスクワット			
概要	・回れ右前へ進め			(11) ダッシュ			
第7回	行進間の動作(3)			(12) 背走			
概要	・右向け前へ進め・左向け前へ進め・速足止まれ			(13) ファイヤマンズキャリー			
第8回	行進間の動作(3)			(14) サドルバッグキャリー			
概要	・右向け前へ進め・左向け前へ進め・速足止まれ			(15) クールダウン			
第9回	停止間から行進間の動作(1)			※ 天候により変更あり。			
概要	・側面縦隊の行進						
第10回	停止間から行進間の動作(2)						
概要	・側面縦隊の行進						
第11回	停止間から行進間の動作(3)						
概要	・速足進め・駆け足進め・止まれ						
第12回	服装・手帳の点検						
概要	・帽子・上下衣・手帳						
第13回	敬礼						
概要	・挙手の敬礼・室内の敬礼・部隊の敬礼						
第14回	点検要領(1)						
概要	・通常点検						
第15回	点検要領(2)						
概要	・通常点検						
成績評価の方法	採点表による実技試験、体力試験により評価する。						

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	健康と社会保障			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	4	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	3年
分野	専門分野	講義		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
救急医療と社会保障、福祉、保険の接点は意外に多い。未曾有の高齢化社会に突入しつつあるわが国で、救急医療システムの最初の部分を担う救急救命士に必要な知識を身に付けさせることを目的とする。							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版第上巻 P.24～63			参考書			
授業の概要							
第1回	保健医療制度の仕組みと現状(1)			第16回	前期テスト解説		
概要	公衆衛生の仕組み			概要			
第2回	保健医療制度の仕組みと現状(2)			第17回	社会保障と社会福祉を支える仕組み(1)		
概要	医療を取り巻く環境			概要	社会保障		
第3回	保健医療制度の仕組みと現状(3)			第18回	社会保障と社会福祉を支える仕組み(2)		
概要	医療供給体制			概要	社会福祉の仕組み		
第4回	保健医療制度の仕組みと現状(4)			第19回	社会保障と社会福祉を支える仕組み(3)		
概要	医療供給体制			概要	社会保険と制度		
第5回	保健医療制度の仕組みと現状(5)			第20回	社会保障と社会福祉を支える仕組み(4)		
概要	環境保健			概要	社会保険と制度		
第6回	保健医療制度の仕組みと現状(6)			第21回	社会保障と社会福祉を支える仕組み(5)		
概要	労働衛生を支える仕組み			概要	社会福祉と制度		
第7回	保健医療制度の仕組みと現状(7)			第22回	医療保険制度		
概要	学校保健を支える仕組み			概要			
第8回	保健医療制度の仕組みと現状(8)			第23回	介護保険制度		
概要	母子保健を支える仕組み			概要			
第9回	保健医療制度の仕組みと現状(9)			第24回	年金保険制度		
概要	地域保健を支える仕組み			概要			
第10回	保健医療制度の仕組みと現状(10)			第25回	児童福祉		
概要	高齢者を支える仕組み			概要			
第11回	保健医療制度の仕組みと現状(11)			第26回	高齢者福祉		
概要	精神保健福祉を支える仕組み			概要			
第12回	医療法と医療計画			第27回	母子及び寡婦福祉		
概要				概要			
第13回	労働者災害補償保険法と労働災害			第28回	障害者福祉		
概要				概要			
第14回	入院形態			第29回	国家試験問題		
概要				概要			
第15回	前期のまとめ			第30回	国家試験問題		
概要				概要			
成績評価の方法		定期試験における客観式記述試験					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	環境障害・急性中毒学			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	1 単位	授業時間	90分	授業回数	15回	履修学年	3 年
分野	専門分野	講義		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
1. 重要な急性中毒を列挙し、それぞれの概要について説明できる。 2. 異物、溺水、熱中症、低体温症、放射線障害の病態、症候、処置について説明できる。 3. 上記以外の主な外因性疾患を挙げ、その概要について説明できる。							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版 下巻p.1056～1125			参考書			
授業の概要							
第1回	急性中毒学(1)						
概要	中毒総論(1) 中毒とは～病態生理						
第2回	急性中毒学(2)						
概要	中毒総論(2) 観察と処置～中毒情報						
第3回	急性中毒学(3)						
概要	医薬品中毒						
第4回	急性中毒学(4)						
概要	農薬中毒 工業用品中毒						
第5回	急性中毒学(5)						
概要	確認テスト① 急性中毒学(前半)						
第6回	急性中毒学(6)						
概要	ガス中毒 アルコール中毒						
第7回	急性中毒学(7)						
概要	自然毒 家庭用品中毒 乱用薬物						
第8回	急性中毒学(8)						
概要	確認テスト② 中毒(前半)						
第9回	環境障害(1)						
概要	異物 溺水						
第10回	環境障害(2)						
概要	熱中症 偶発性低体温症						
第11回	環境障害(3)						
概要	確認テスト③ 環境障害(前半)						
第12回	環境障害(4)						
概要	放射線障害						
第13回	環境障害(5)						
概要	高山病 減圧障害 酸素欠乏症 凍傷 紫外線障害						
第14回	環境障害(6)						
概要	確認テスト④ 環境障害(後半)						
第15回	予備日						
概要							
成績評価の方法		定期試験(客観式および記述式筆記試験)で60点以上を合格とする。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	シミュレーション応用 2			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	6単位	授業時間	90分	授業回数	120回	履修学年	3年
分野	専門分野	実習		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
観察、判断、行動の各要素を合理的に実行しつつ、やや長く複雑な経過のシナリオに沿って活動できる。							
教科書	救急救命士標準テキスト改訂第9版			参考書	救急救命レビューノート JPTEC		
授業の概要							
		概要		予習すべき事項			
症例 1	1～3回	ゴルフ中に強い頭痛を訴える		活動中の急激な頭痛を訴える疾患			
症例 2	4～6回	バイクと車の衝突		バイクと運転者の距離は5m以上			
症例 3	7～9回	女性が路地で倒れている		痙攣・意識障害をきたす疾患			
症例 4	10～12回	包丁で刺された		刺創の合併症と処置 成傷器の形態			
症例 5	13～15回	女性が血を吐いた		数日前からふらつきがあった			
症例 6	16～18回	腕をベルトコンベアーに挟まれた		回転体の損傷と欠損創・断端の処置			
症例 7	19～21回	胸痛を訴えている		胸痛と呼吸困難をきたす疾患・HOT			
症例 8	22～24回	乗用車に跳ねられ意識がない		気道確保と全脊柱固定			
症例 9	25～27回	吐き気がして気持ちが悪い		糖尿病・嘔気と気分不快をきたす疾患			
症例 10	28～30回	乗用車と小型トラックの衝突		奇異呼吸 皮下気腫 ショック			
症例 11	31～33回	手が痺れる		前胸部痛に続き手のしびれが起こる			
症例 12	34～36回	重機と塀の間に挟まれた		圧挫損傷 ショック			
症例 13	37～39回	頸の後ろが痛い		後頸部痛をきたす疾患			
症例 14	40～42回	子供がベッドから落ちた		墜落・転落 不自然な外傷痕			
症例 15	43～45回	5歳の娘が苦しんでいる		感冒症状から喘鳴が深夜に増悪			
症例 16	46～48回	軽自動車の単独事故		ハンドル外傷 シートベルト損傷			
症例 17	49～51回	男性が胸部の強い圧迫感を訴える		発作の誘因や持続時間 硝酸薬			
症例 18	52～54回	男性が車に跳ねられた		受傷機転 5m跳ね飛ばされた			
症例 19	55～57回	妻が胸の苦しさを訴えている		初期所見や心電図の異常疾患			
症例 20	58～60回	旦那が自分に火を付けた		火焰熱傷 気道熱傷			
症例 21	61～63回	夫が急に倒れた		初期所見と急に倒れる疾患			
症例 22	64～66回	隣の家が新聞が溜まっている		高齢で独居老人 腹部の冷感著明			
症例 23	67～69回	夫が足の激痛を訴えている		下肢の激痛をきたす疾患			
症例 24	70～72回	別荘で夫婦が倒れている		酸素飽和度は高値			
症例 25	73～75回	子供が引きつけを起こしている		小児の痙攣をきたす疾患			
症例 26	76～78回	娘が風呂に落ちた		熱傷の深さと面積 シバリング			
症例 27	79～81回	母が喋れない。身体も動かない		局所症状が突然に出現する疾患			
症例 28	82～84回	交通事故で怪我をした		女性の事故後の持続的な下腹部痛			
症例 29	85～87回	同僚が急に手の麻痺を訴えている		麻痺をきたす疾患			
成績評価の方法	採点表による実技試験によって評価する。						

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	シミュレーション応用 3			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	5単位	授業時間	90分	授業回数	105回	履修学年	3年
分野	専門分野	実習		必修		後期	
授業の目標・ねらい							
<p>予想外の経過も加わる複雑なシナリオにおいて、臨機応変かつ迅速・正確に対応することができる。 毎回シナリオを変え、シナリオの暗記に頼らず自分の観察と判断によって対応する。 119番通報から現場・救急車内及び医療機関到着までの想定訓練により一連の救急活動を体験する。</p>							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版			参考書	救急救命レビュー JPTEC		
授業の概要							
		概要			予習すべき事項		
症例 1 救急車	1回	走行実習1					
症例 2 救急車	2回	走行実習2					
症例 3 救急車	3回	走行実習3					
症例 4 救急車	4回	走行実習4					
症例 5 救急車	5回	走行実習5					
症例 6 救急車	6回	走行実習6					
症例 7 救急車	7回	走行実習7					
症例 8 救急車	8回	走行実習8					
症例 9 救急車	9回	走行実習9					
症例 10 救急車	10回	走行実習10					
症例 11	11回	外因1					
症例 12	12回	内因1					
症例 13	13回	内因2					
症例 14	14回	外因2					
症例 15	15回	内因3					
症例 16	16回	外因3					
症例 17	17回	内因4					
症例 18	18回	外因4					
症例 19	19回	外因5					
症例 20	20回	内因5					
症例 21	21回	外因6					
症例 22	22回	内因6					
症例 23	23回	外因7					
症例 24	24回	内因7					
症例 25	25回	外因8					
症例 26	26回	内因8					
症例 27	27回	外因9					
症例 28	28回	内因9					
症例 29	29回	内因10					
成績評価の方法		採点表による実技試験によって評価する。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	シミュレーション応用 3			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	5単位	授業時間	90分	授業回数	105回	履修学年	3年
分野	専門分野	実習		必修		後期	
授業の目標・ねらい							
<p>予想外の経過も加わる複雑なシナリオにおいて、臨機応変かつ迅速・正確に対応することができる。 毎回シナリオを変え、シナリオの暗記に頼らず自分の観察と判断によって対応する。</p>							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版			参考書	救急救命レビュー JPTEC		
授業の概要							
		概要			予習すべき事項		
症例 30	30回	外因10					
症例 31	31回	内因11					
症例 32	32回	外因11					
症例 33	33回	内因12					
症例 34	34回	外因12					
症例 35	35回	内因13					
症例 36	36回	外因13					
症例 37	37回	内因14					
症例 38	38回	外因14					
症例 39	39回	内因15					
症例 40	40回	外因15					
症例 41	41回	内因16					
症例 42	42回	外因16					
症例 43	43回	内因17					
症例 44	44回	外因17					
症例 45	45回	内因18					
症例 46	46回	外因18					
症例 47	47回	内因19					
症例 48	48回	外因19					
症例 49	49回	内因20					
症例 50	50回	外因20					
症例 51	51回	内因21					
症例 52	52回	外因21					
症例 53	53回	内因22					
症例 54	54回	外因22					
症例 55	55回	内因23					
症例 56	56回	外因23					
症例 57	57回	内因24					
症例 58	58回	外因24					
成績評価の方法		採点表による実技試験によって評価する。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	シミュレーション応用 3			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	5単位	授業時間	90分	授業回数	105回	履修学年	3年
分野	専門分野	実習		必修		後期	
授業の目標・ねらい							
<p>予想外の経過も加わる複雑なシナリオにおいて、臨機応変かつ迅速・正確に対応することができる。 毎回シナリオを変え、シナリオの暗記に頼らず自分の観察と判断によって対応する。</p>							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版			参考書	救急救命レビュー JPTEC		
授業の概要							
		概要			予習すべき事項		
症例 59	59回	内因25					
症例 60	60回	外因25					
症例 61	61回	内因26					
症例 62	62回	外因26					
症例 63	63回	内因27					
症例 64	64回	外因27					
症例 65	65回	内因28					
症例 66	66回	外因28					
症例 67	67回	内因29					
症例 68	68回	外因29					
症例 69	69回	内因30					
症例 70	70回	外因30					
症例 71	71回	内因31					
症例 72	72回	外因31					
症例 73	73回	内因32					
症例 74	74回	外因32					
症例 75	75回	内因33					
症例 76	76回	外因33					
症例 77	77回	内因34					
症例 78	78回	外因34					
症例 79	79回	内因35					
症例 80	80回	外因35					
症例 81	81回	内因36					
症例 82	82回	外因36					
症例 83	83回	内因37					
症例 84	84回	外因37					
症例 85	85回	内因38					
症例 86	86回	外因38					
症例 87	87回	内因39					
成績評価の方法		採点表による実技試験によって評価する。					

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	救急車同乗実習			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	1	1日の 授業時間	8 時間	実習 実日数	5 日間	履修学年	3年
分野	専門分野	実習		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
1. これまでの講義や実技訓練で体得した知識・技術を実践し向上させる。 2. 病態生理の理解度を深め、傷病状態についての判断能力を高める。 3. 救急活動の全体と病態経過の全体像を把握する。 4. 救急救命士としての意識の高揚を図る。							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版			参考書	適宜指示		
授業の概要(実習の場所、内容、方法、記録、評価については実習要項に記載)							
第1回	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> } } </div>			第16回	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> } } </div>		
概要				概要			
第2回				第17回			
概要				概要			
第3回				第18回			
概要				概要			
第4回				第19回			
概要				概要			
第5回				第20回			
概要				概要			
第6回				第21回			
概要				概要			
第7回				第22回			
概要				概要			
第8回				第23回			
概要				概要			
第9回				第24回			
概要				概要			
第10回				第25回			
概要				概要			
第11回				第26回			
概要				概要			
第12回				第27回			
概要				概要			
第13回				第28回			
概要				概要			
第14回				第29回			
概要				概要			
第15回				第30回			
概要				概要			
成績評価の方法	実習指導担当者による評価を主とし、実習後に行う症例発表の評価を加味して判定する。						

2018年度 授業計画(シラバス)

科目名	臨床実習			対象学科	救急救命士学科		
授業単位	4	1日の 授業時間	9 時間	実習 実日数	20 日間	履修学年	3年
分野	専門分野	実習		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
1. 救急救命士に必要な観察と処置の実際を体験し、知識、技術を向上させる。 2. 救急で重要な症候と疾患についての理解を深める。 3. 医療機関の機能を学び、救急救命士の役割を知る。 4. 患者さんへの接し方を学び、傷病者への接遇に役立てる。							
教科書	救急救命士標準テキスト第9版			参考書	適宜指示		
授業の概要(実習の場所、内容、方法、記録、評価については実習要項に記載)							
第1回	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; height: 100%;"> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>第16回</p><p>概要</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>第17回</p><p>概要</p> </div> </div>			第16回	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; height: 100%;"> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>第18回</p><p>概要</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>第19回</p><p>概要</p> </div> </div>		
概要				概要			
第2回				第17回			
概要				概要			
第3回				第18回			
概要				概要			
第4回				第19回			
概要				概要			
第5回				第20回			
概要				概要			
第6回				第21回			
概要				概要			
第7回				第22回			
概要				概要			
第8回				第23回			
概要				概要			
第9回				第24回			
概要				概要			
第10回				第25回			
概要				概要			
第11回				第26回			
概要				概要			
第12回				第27回			
概要				概要			
第13回				第28回			
概要				概要			
第14回				第29回			
概要				概要			
第15回				第30回			
概要				概要			
成績評価の方法	実習指導担当者による評価を主とし、実習後に行う症例発表の評価を加味して判定する。						